

第43期事業報告書

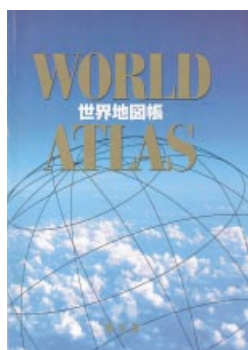
平成13年4月1日から平成14年3月31日まで

株式についてのご案内

| | |
|---------------------|--|
| 決算期 | 毎年3月31日 |
| 定時株主総会 | 毎年6月 |
| 配当金受領株主確定日 | 利益配当金 3月31日 中間配当金 9月30日（中間配当を行う場合） |
| 株式の名義書換代理人 | 東京都千代田区丸の内一丁目4番3号 UFJ信託銀行株式会社 |
| 同事務取扱所 （お問い合わせ先） | 東京都江東区東砂七丁目10番11号 UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話03-5683-5111(代表) |
| 同取次所 | UFJ信託銀行株式会社 全国各支店 |
| 1単元の株式数 | 100株 |
| 単元未満株式の買取請求場所 | 上記の名義書換代理人、 同事務取扱所および同取次所 |
| 公告掲載新聞 | 日本経済新聞 |

株主優待制度のご案内

当社では株主優待制度として、100株以上ご所有（3月末日現在）の株主様に、3,000円相当の当社製品を進呈しております。本年は、「世界地図帳」をお送りいたします。7月中旬頃発送する予定です。



特集

出版と電子事業の両輪による新たなビジネスモデル

成果を見せはじめたSiMAP効果と、コンテンツビジネス

当社は地図自動作図機能と地図情報管理機能を併せ持ったSiMAP（サイマップ：昭文社統合地図情報システム）の最大限の活用を目指すとともに、地図・ガイドデータベースの強化を継続してきました。出版事業では、SiMAPの持つ汎用性や機動性を活かし、多様化する市場のニーズをとらえた「でっか字まっぷ」「ライトマップル」「GIGAマップル」など、魅力ある出版物の提供と積極的なリニューアルを行ってきました。電子事業においては、GIS（地理情報システム）・カーナビゲーション・携帯端末向けコンテンツの提供、さらに電子地図ソフト「スーパーマップル・デジタルVer.2」など、顧客ニーズに合った製品や新たなサービスを生み出してきました。

当期は地図とガイド両方のデータベースを持つ強みを活かし、出版物とWebのメディアミックスを目指し、新しいタイプのガイドブック「あっちこっち」シリーズの創刊や他社との共同企画商品を発売するなど、新たなビジネスチャンスを広げてきました。

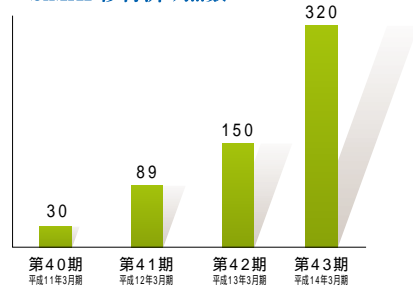
威力を発揮するSiMAP ～昭文社の出版事業～

SiMAP、フル稼働

出版物では当期、ロングセラーである「文庫判 東京・都市図」をSiMAPを駆使して全面改訂しました。また、シートタイプ（1枚もの）の地図である都道府県別の「分県地図」47点全点、東京の「区分地図」全点、全国の「都市地図」も順次を全面改訂しております。いずれも「見やすさ」「使いやすさ」を追求し、役立つ情報を豊富に掲載しています。

短期間で集中的な改訂出版ができるのも、SiMAPにより地図の制作期間が従来より大幅に短縮され、また印刷前の制作コストも従来の50%以下にまで削減されたことによるものです。

● SiMAP移行済み点数 ●



あっちこっちシリーズ創刊

当社データベースを活用し、インターネットと連動する新旅行ガイドブック「あっちこっち」シリーズ（21点 新書判）を創刊しました。その土地の特色がひと目でわかる特集、その土地ならではの料理やみやげもの情報に加え、見やすい詳細地図も付いています。ネーミングが示すとおりどこへ出掛けても、携帯端末やWebサイト（Mapple net）からも情報収集ができる楽しい旅行ガイドブックです。2002年3月の発売以来、好調な売行きを見せています。



豊富なコンテンツにより、 低価格商品を実現

消費者の低価格志向に対応し、「あっちこっち」シリーズはワンコイン500円（税込）という価格を実現。地図においても「ライトマップル」シリーズは600円・800円（本体）の価格で2001年2月の発売以来ラインナップを増やし、お手頃な価格で順調な売行きを示しています。

このような低価格製品の実現も豊富な地図・ガイドデータベースを保有する当社の強みといえます。

共同企画商品の発売

2002年4月には、株式会社セブン・イレブン・ジャパンとの共同企画による「首都圏日帰りおでかけ道路地図」を発売しました。

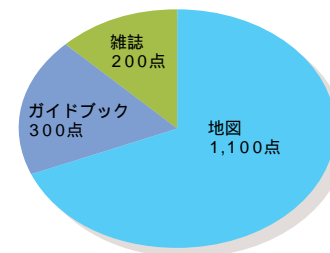
「セブンイレブン」で先行販売した結果、ゴールデンウィーク前のタイムリーな出版も追い風となり好調な売行きとなりました。

今後も顧客ニーズに応えた商品づくりを企画提案し、市場の活性化に取り組んでいきます。



（A4判）

● 市販出版物品目別出版点数 ●



技術革新を背景に ビジネスが拡大 ～昭文社の電子事業～

着実な足固めが進む

当社は平成10年3月期より本格的に電子事業を開始して以来、着実に実績を伸ばしています。特に当期は新たなサービスの開始及びコンテンツの充実により、GIS(地理情報システム) Webサイト、モバイル、印刷関連の各ジャンルにおいて、前期を大きく上回る結果となりました。

また、当社の持つ強みである地図とガイドの両方のコンテンツを保有していること、メンテナンス体制を確立していることも、売上を牽引した大きな要因といえます。

今後、「e-JAPAN重点計画」によるブロードバンド化などのインフラ整備も追い風として、より豊富なコンテンツで電子事業の体制を固めていきます。

「e-JAPAN重点計画」

政府が提唱する高度情報通信社会の実現により、我が国が5年以内に世界最先端のIT国家となることを目指すもの。

「GISアクションプラン2002-2005」

e-JAPAN重点計画を具体化し、政府主導によるGISの整備・普及を推進することで、行政、産業活動、国民生活の各分野でGISを活用した効率的かつ質の高い活動の実現を目指すもの。

GISの拡がり独自フォーマット開発による電子地図データの差別化

当期は、官公庁・民間企業での導入が続くGISシステムのベースマップとして、各県警本部の通信指令システムなどを中心に数多くの実績を残すことができました。

また、2005年までに国を挙げて、GISをインフラとして整備しようという「GISアクションプラン2002-2005」により、各官公庁において統合型GISの取り組みが活発化しています。

こうした事業環境を背景に、当期はSiMAPをベースにした電子地図の独自フォーマット「MDX」を開発、リリースしました。最大の特長は、これまで同様、情報量が多く見栄えの美しい地図意匠に加え、各種GISエンジンの利用において利便性が高く、より短時間で地図情報の更新を可能とすることです。加えて、更新コストの削減も実現する、まさに画期的なフォーマットといえます。

今後も官公庁へのアプローチを強化し、受注拡大に向け邁進していきます。

GIS導入の低コスト化を実現

～マップルX、マップルXRサーバー～

顧客管理、出店管理システムなどのベースマップとして電子地図の用途は急激に拡大しているものの、GIS導入には多額の投資を必要とするため、一部の限られた企業のみが対象であるとのイメージがありました。そのような中、当期はより多くの事業所を対象に、少額投資でGISが実現できる開発ツールを2種類発売しました。

ひとつは市販電子地図ソフト「スーパーマップル・デジタルVer.2」を利用し、各企業が保有するデータベースと連携させることにより業務用地図システムの構築を可能とする開発キット「マップル X」。さらにクライアントの要求に応じてベクトル地図を動的にラスターライズす

るための、独自サーバーを構築する開発ツール「マップルXRサーバー」です。どちらも情報の効率化とコスト削減を実現する、ユーザーニーズに応える業務用地図システムの開発支援ツールです。

最近では、マップルXの事例として老人介護支援システムやトラック運行管理システムとしての採用がありました。

さまざまなシーンで活用 ～印刷関連分野へのサービスも拡充～

SiMAPはGIS以外にもさまざまなビジネスユースに対応しています。印刷物利用向けのデータ提供もそのひとつです。

当期はNTTタウンページの全国主要地域版に掲載される地図として、数多く採用されました。

また、雑誌・カタログ等の掲載カット図向けとして、略地図を作成するサービス「デフォルメマップル」が当期大きく売上を伸ばしました。

そのサービス名が示すように地図に記載されている詳細な注記を取捨選択し、扱いやすいカット図として低価格での提供を実現しているサービスですが、当期は人気グルメサイト「ぐるなび」での店舗紹介用カット図として採用されるなど、需要が高まっています。



提供：株式会社NTT番号情報殿

「人にやさしい地図」を 電子分野でも反映

～歩行者ネットワークデータ～

当社はこれまで大きな文字の地図「でっかまっぷ」やバリアフリー情報を地図上に反映させた「街の達人」など、「人にやさしい地図」づくりをコンセプトにした出版物を世に送り出してきました。

この考え方は、電子分野においても当期「MAPPLE 歩行者ネットワークデータ」のリリースという形になりました。これまで道路中心線で案内していたルートを、歩道、歩道橋、横断歩道、駅のコンコース、地下道などを、歩行者がスムーズに通れるルートを選び、安全に早く目的地へ導くことができます。携帯電話やPDA(携帯情報端末)での利用も広がりを見せています。現在、東京、京阪神、名古屋の主要部をリリースしていますが、全国主要都市についても順次構築しております。今後も利用者のニーズに合わせた「人にやさしい地図」を提供していきます。



MAPPLE 歩行者ネットワークデータの一例

特集

利用が広がる 8万件的ガイドコンテンツ

当社の強みは、何と言っても地図以外に8万件的ガイドコンテンツを保有していることです。「見る」「食べる」「遊ぶ」「泊まる」「買う」「温泉」「イベント」の基本分類のほか、「スキー場」「キャンプ場」など、特化したカテゴリーのデータも揃えているため、多方面の用途に応えられるコンテンツとして「YAHOO!」「BIGLOBE」「@nifty」「So-net」「excite」「駅前探検倶楽部」「ぐるなび」などWebメガサイトを中心に利用が拡大しています。



コラボレーションビジネス

当社は、サーバーの運用やセキュリティ面での実績がある企業と新たなビジネスモデルを構築し、積極的な展開を図っています。当社は今年3月末にSVG地図配信「Base Mapサービス」を発表しました。当社の関連会社であるシビルソリューションズ株式会社が開発・運用を担当、当社は地図の提供と販売を担当し、相互の優位性を十分に引き出す協力体制で、日本初のSVG地図配信サービスが実現しました。

SVGとは?

SVGとは、Webの標準化団体であるWorldWide Web Consortium (W3C) から2001年9月に勧告されたXMLベースのグラフィックス記述用言語「Scalable VectorGraphics (SVG) Ver1.0」のことで、ブラウザ上で画面を拡大/縮小しても鮮明に表示することができるベクトル形式のデータをWeb上で扱うことを目的に標準化された言語です。

出版と電子が連動 ~昭文社のメディアミックス戦略~

スーパーマッブル・デジタルから 広がるメディアミックス

時代が求めるデジタル化やブロードバンド化に伴い、今、質の高いデジタルコンテンツが求められています。「スーパーマッブル・デジタルVer.2」は、Webからガイド情報をダウンロードできる機能を追加しました。地図情報をベースに多彩な楽しみ方ができる市販電子地図ソフトです。

松下通信工業株式会社のカーナビゲーションシステムの新機種CN-HD9000には、この「スーパーマッブル・デジタルVer.2 Plus」が同梱されています。例えば、旅の計画を立てる際、Webのマッブルネットから観光情報をダウンロード、その情報をカーナビに移行し目的地に設定できます。車外での活動ではPDAを利用、デジカメ等で収録した内容を家に帰って「スーパーマッブル・デジタルVer.2」に保存。このように媒体の垣根を越えた楽しみ方で、旅のアルバムづくりの夢もふくらみます。



マッブルネット (Webからガイド情報をダウンロード)
<http://www.mapple.net/>

インターネットと連動の 「あっちこっち」シリーズ登場

ガイドデータベースが生み出した、新旅行ガイドブック「あっちこっち」シリーズは、出版物とWebを連動させたまったく新しいタイプのガイドブックです。

本に掲載されているマッブルガイドコード(7~8桁の数字)を携帯電話やPDA・PCのWebサイト(mapple net)で検索キーとして入力すると、その情報についての最新データを手に入れることができます。本では紹介しきれない情報も入手できるなど「あっちこっち」シリーズならではの付加価値として、従来の出版物にない幅広い利用方法を提案していきます。



(マッブルガイドコードで検索)

ポケットPC向け電子書籍の ダウンロード

出版物の新しい提供形式として、電子書籍の販売にも力を入れています。株式会社ミュージック・シーオー・ジェービーによるポケットPC向け電子書籍のダウンロード販売のライブラリーに、当社の旅行ガイドブックの主力シリーズである「上撰の旅」デジタル版が採用され、販売を開始しました。

本来アナログである出版物の情報がデジタル化されさまざまな媒体を通じ広がります。

出版物とWebのメディアミックスは、インターフェース、新鮮度、検索性、情報量などのキーワードにおいて相互に補完し合うメリットがあります。

今後も電子と出版、双方の特長を最大限に活用し、価値あるコンテンツをメディアミックスで提供していき「いつでも」「どこでも」「だれにでも」利用できる商品づくり、サービスを展開していきます。



今後の経営方針

経営の基本方針

創業以来の経営理念である「地図をベースに限りない挑戦により変化の時代を拓き、社会に貢献する」ことに積極的に取り組んできた結果が、SiMAP事業で新たな可能性を生み出しました。変化の激しい社会環境のなかで、多様化する利用者のニーズに応え、製品の利便性を追求するためには、よりタイムリーで高品質な製品の提供が不可欠です。そのためにも、出版事業で積み上げてきた実績とノウハウを生かし、地図・ガイドデータベースを活用した電子分野への積極的な事業展開を図り、「情報社会の一翼を担う企業」を目指すことを基本方針としてまいります。

中長期的な経営戦略

コアコンピタンスであるSiMAPの強化充実に、「出版事業で収益をキープし、電子事業で拡大する」という中期的な経営方針を推進し、良質な出版物やサービスの提供とともに、制作の効率化およびコストの軽減化を図ります。さらに新たなビジネスの拡大により収益の向上と企業体質の強化を目指してまいります。

中長期的な対処すべき課題

以下の項目を、今後の経営の課題としてまいります。

(1) SiMAPデータベースのさらなる強化充実に

SiMAPの利用による機動的な出版体制を確立し、商品体系の整備と制作の合理化を目指します。

(2) すべてSiMAP化による地図の出版地図をすべて、見やすく、美しい高品質のSiMAPで作成していきます。

(3) 電子ビジネスをさらに拡大デジタルデータの販売を強化し、優れたコンテンツを基本とした電子ビジネスの拡大を図ります。

(4) 在庫適正化と返品抑制に努める市販出版物の市場在庫の適正化と売場構成の見直しをさらに徹底し、販売促進を図るとともに返品抑制に努めます。

データベース 2001 Tokyo

10月30日から11月1日まで、東京国際フォーラムにおいて開催された、国内最大のデータベース総合展「データベース 2001 TOKYO」に出展しました。当社が誇るマッフルデジタルデータシリーズ、簡易GIS開発キット「Mapple X」、「Mapple X R-Server」などを展示し、来場者の方々の注目を集めました。



新製品説明会を開催

11月28日、アルカディア市ヶ谷において当社電子営業部主催による新製品の説明会を開催。ソフトベンダーを対象とし「歩行者用ネットワークデータ」、「Mapple X」、「Mapple X R-Server」などの紹介を行ないました。多くの方々に出席いただき大変手ごたえを感じる説明会となりました。

TOPICS

外国人向け観光情報サイトに情報提供

ライジング・サン・ディレクトリー株式会社が運営する、外国人向け日本のエリア情報サイトに当社の英文地図とガイド情報が採用され、11月6日より提供を開始しました。



(<http://www.rsjapan.com>)

「でっか字関東道路地図」25万部突破

「人にやさしい地図」作りのひとつである、大きな文字を採用し見やすくわかりやすさを追求したGIGAマッフル「でっか字関東道路地図」(A4判)は、2001年4月の発売以来、皆様に大好評をいただきおかげ様で25万部を突破いたしました。



ごあいさつ



代表取締役社長
青柳 栄次

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

ここに当社第43期（平成13年4月1日～平成14年3月31日）の業績をとりまとめましたので、その概要をご報告申し上げます。

1997年以降5年連続で出版物推定販売金額が前年を下回る結果となった出版業界は、インターネット、携帯電話の普及による活字離れや書店の廃業、新規出店書店数の大幅な減少等、厳しい状況で推移いたしました。

このような環境のもと、当社ではSiMAPの積極的な利用による市販出版物の制作強化と、地図データベース・ガイドデータベースの強化充実を推進してまいりました。

その中で市販出版物においては、高齢化社会にも対応し「人にやさしい地図」作りをコンセプトとした「でっか字道路地図」、「街の達人」シリーズをはじめ、当社のガイドデータベースを活用して低価格を実現し、かつインターネットと連動する新ガイドブック「あっちこっち」シリーズを出版いたしました。また、人気製品である「でっか字まっぷ」および低価格の「ライトマップル」のシリーズ強化など新商品体系を構築し、既存製品の積極的なリニューアルも行なうなど市場の活性化を図りました。しかしながら、個人消費の低迷が続くなか市販出版物市場は依然として厳しく、返品率も改善されず、売上は前年に比べ減少しました。

その一方で電子出版におきましては、GIS市場向け当社独自の販売用地図フォーマットの開発、企業向け簡易GIS開発キット「マップルX」、「マップルXRサーバー」、市販電子地図ソフト「スーパーマップル・デジタルVer.2」を製品化し、大小さまざまな企業や官公庁から個人ユーザーまで販売対象を広げてまいりました。コンテンツ・サービスの充実と浸透により、売上は前年に比べ増加いたしました。

この結果、当期の売上高は185億52百万円（前期比6.5%減）、経常利益は20億47百万円（前期比11.3%増）となりました。また、投資有価証券売却などによる特別損失を計上したこともあり、当期利益は1億42百万円（前期比30.0%減）となりました。

今後、市販出版物におきましては出版物の多様化に対応するための積極的な出版、電子事業におきましては市場開拓を推進しGIS、携帯電話などでのコンテンツ提供を強化してまいります。

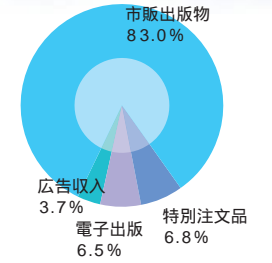
今後も変革と挑戦を忘れることなく、株主の皆様のご信頼と期待にお応えしてまいりますので、より一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成14年6月

雑誌



品目別売上高比率



地図



特別注文品



ガイドブック



電子出版



貸借対照表

(単位：千円)

| | 当期 (平成14年3月31日現在) | 前期 (平成13年3月31日現在) |
|---------------------|----------------------|----------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | 16,412,329 | 20,722,261 |
| 固定資産 | 22,555,381 | 25,755,734 |
| 有形固定資産 | 10,921,028 | 11,346,027 |
| 無形固定資産 | 9,439,189 | 9,840,196 |
| 投資等 | 2,195,163 | 4,569,511 |
| 資産合計 | 38,967,711 | 46,477,996 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | 4,621,423 | 11,776,298 |
| 固定負債 | 1,054,413 | 1,494,018 |
| 負債合計 | 5,675,836 | 13,270,317 |
| 資本の部 | | |
| 資本金 | 9,903,870 | 9,903,870 |
| 法定準備金 | 10,952,236 | 10,916,336 |
| 資本準備金 | 10,708,236 | 10,708,236 |
| 利益準備金 | 244,000 | 208,100 |
| 剰余金 | 12,584,405 | 12,835,890 |
| 別途積立金 | 12,100,000 | 12,100,000 |
| 当期末処分利益 (うち当期利益) | 484,405 (142,569) | 735,890 (203,687) |
| 評価差額金 | 148,575 | 448,417 |
| その他有価証券評価差額金 | 148,575 | 448,417 |
| 自己株式 | 61 | - |
| 資本合計 | 33,291,874 | 33,207,678 |
| 負債・資本合計 | 38,967,711 | 46,477,996 |

損益計算書

(単位：千円)

| | 当期 (平成13年4月1日から 平成14年3月31日まで) | 前期 (平成12年4月1日から 平成13年3月31日まで) |
|----------------|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 経常損益の部 | | |
| 営業損益の部 | | |
| 営業収益 | 18,552,291 | 19,839,125 |
| 営業費用 | 16,597,329 | 18,189,863 |
| 営業利益 | 1,954,962 | 1,649,261 |
| 営業外損益の部 | | |
| 営業外収益 | 208,283 | 330,094 |
| 営業外費用 | 115,456 | 139,200 |
| 経常利益 | 2,047,789 | 1,840,154 |
| 特別損益の部 | | |
| 特別利益 | 102,227 | - |
| 特別損失 | 1,513,454 | 1,476,675 |
| 税引前当期利益 | 636,562 | 363,479 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 272,164 | 581,269 |
| 法人税等調整額 | 221,829 | 421,477 |
| 当期利益 | 142,569 | 203,687 |
| 前期繰越利益 | 341,836 | 532,202 |
| 当期末処分利益 | 484,405 | 735,890 |

利益処分

(単位：円)

| | 当期 | 前期 |
|------------------|-----------------|-----------------|
| 当期末処分利益 | 484,405,468 | 735,890,445 |
| これを次のとおり処分いたします。 | | |
| 利益準備金 | - | 35,900,000 |
| 利益配当金 | 346,154,000 | 346,154,000 |
| | (普通配当 1株につき20円) | (普通配当 1株につき20円) |
| 役員賞与金 | 11,500,000 | 12,000,000 |
| (うち監査役賞与金) | (2,000,000) | (1,000,000) |
| 次期繰越利益 | 126,751,468 | 341,836,445 |



IR情報も充実のホームページ

昭文社のホームページは、株主・投資家の皆様に向けてIR情報を豊富に盛り込んでいます。ニュースリリースによる最新情報や財務情報もご覧になれます。また、事業報告書のバックナンバーや株価情報も盛り込んでいますので、ぜひアクセスして下さい。

<http://www.mapple.co.jp/>

株式の状況

会社が発行する株式の総数 57,000,000株
 発行済株式の総数 17,307,750株
 株主数 16,426名
 大株主

| 株主名 | 持株数 | 持株比率 | 当社の大株主への出資状況 | |
|---|---------|--------|--------------|------|
| | | | 持株数 | 持株比率 |
| 黒田敏夫 | 3,574千株 | 20.65% | 千株 | % |
| 黒田茂夫 | 1,699 | 9.81 | | |
| エスエヌエフイーマックジャパンアクティブ シェアホルダーファンドエルビー | 1,414 | 8.16 | | |
| 昭文社社員持株会 | 860 | 4.96 | | |
| 三菱信託銀行株式会社(信託口) | 546 | 3.15 | | |
| 株式会社あさひ銀行 | 300 | 1.73 | | |
| 株式会社東京三菱銀行 | 246 | 1.42 | | |
| クレディアグリコルインドスエズルクセンブルグ | 205 | 1.18 | | |
| 有限会社エヌ・エス・ティ | 180 | 1.03 | | |
| UFJ信託銀行株式会社(信託勘定A口) | 174 | 1.00 | | |

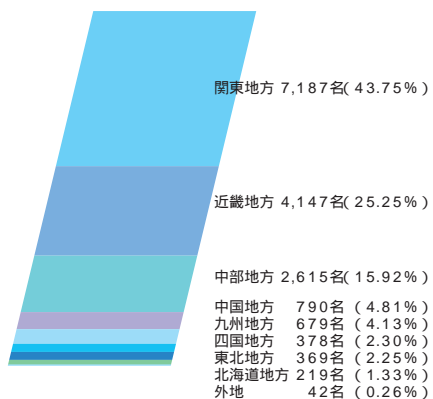
(注) 1. 当社の「株式会社あさひ銀行」への出資は、平成14年3月1日付株式移転により「株式会社大和銀ホールディングス」への出資(持株数1,220,500株、持株比率0.01%)となりました。
 2. 当社の「株式会社東京三菱銀行」への出資は、平成13年4月2日付株式移転により「株式会社三菱東京フィナンシャル・グループ」への出資(持株数120株、持株比率0.00%)となりました。
 3. 東洋信託銀行株式会社は平成14年1月15日をもってUFJ信託銀行株式会社に商号を変更しております。

配当情報

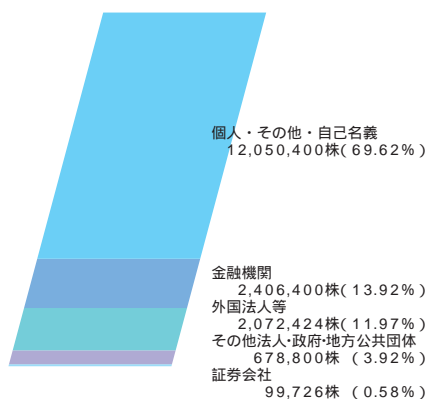
昭文社では、株主の皆様のご支援にお応えするために、可能な限りの株主還元政策を採っています。当期におきましては、1株につき20円といたしました。

株主の分布

地域別株主分布状況



所有者別株式分布状況



会社概況



会社名 株式会社 昭文社
 創業 昭和35年5月
 資本金 99億387万円
 従業員数 468人
 本社所在地 東京都千代田区麹町3-1
 事業内容 各種地図、ガイドブック、観光情報誌、趣味・実用書等の製造販売。

事業所

本社 東京都千代田区
 大阪支社 大阪市淀川区
 制作本部 東京都江東区
 札幌営業所 札幌市中央区
 仙台営業所 仙台市若林区
 浦和営業所 埼玉県さいたま市
 千葉営業所 千葉市中央区
 立川営業所 東京都立川市
 横浜営業所 横浜市西区
 新潟営業所 新潟県新潟市
 金沢営業所 石川県金沢市
 静岡営業所 静岡県静岡市
 名古屋営業所 名古屋市名東区
 京都営業所 京都市中京区
 広島営業所 広島市中区
 福岡営業所 福岡市中央区
 東京商品センター 東京都足立区
 大阪商品センター 大阪府摂津市
 埼玉製本センター 埼玉県大和町
 地図研究所 茨城県つくば市

当社100%子会社でありました株式会社昭文社地図図研
 究所は平成14年3月31日をもって解散しております。

役員(平成14年6月27日現在)

代表取締役社長 青柳 栄 次
 取締役副社長 笈川 実
 専務取締役 南塚 昭夫
 常務取締役 黒田 茂夫
 常務取締役 奥野 暁生
 取締役 大野 真哉
 常勤監査役 川村 豪男
 常勤監査役 打出 外禧
 監査役 成田 一正